

世界水資源関連株式 ファンド

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2025年4月2日)
(作成対象期間 2024年10月3日~2025年4月2日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2023年4月3日～2023年4月1日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投資対象	当 ファ ン ド	イ．ルクセンブルク籍の外国 投資法人「ＢＮＰパリバ・ ファンズ」が発行する「ＢＮ Ｐパリバ・ファンズ アクア (UI15 JPY CAPクラス)」 の投資証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザー ファンドの受益証券	
	ダイワ・マネー・ マザーファンド	本邦通貨表示の公社債	
組入制限	当 ファ ン ド の 投 資 信託証券組入上限比率	無制限	
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の30%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、基 準価額の水準等を勘案して分配金額を決定しま す。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配 を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の水に関連
する事業を行なう企業の株式に投資を行な
い、信託財産の成長をめざしております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

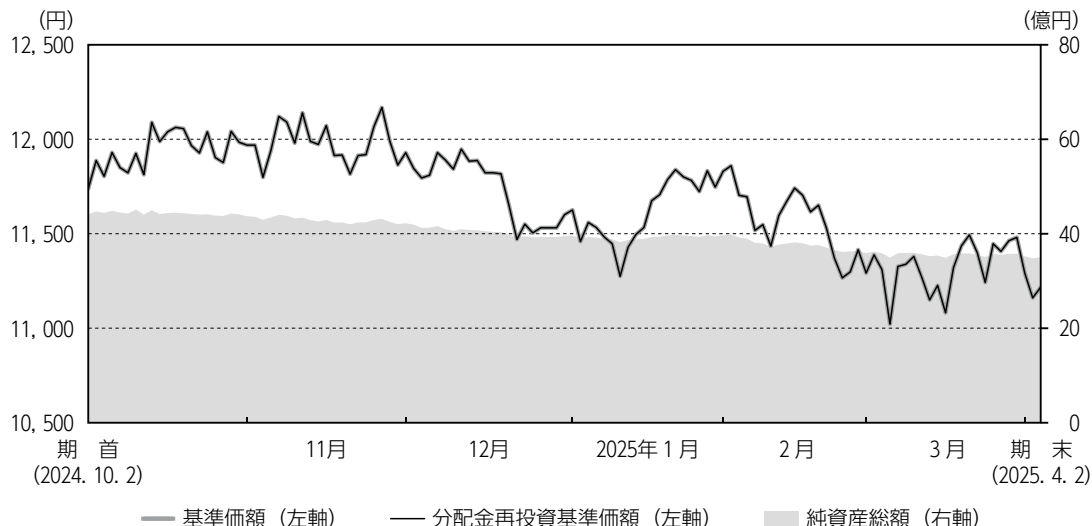
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2023年10月 2 日)	10,499	400	9.0	11,538	15.4	—	97.4	4,025
2 期末 (2024年 4 月 2 日)	11,850	1,100	23.3	13,995	21.3	0.0	99.1	4,773
3 期末 (2024年10月 2 日)	11,738	0	△ 0.9	14,507	3.7	0.0	99.0	4,410
4 期末 (2025年 4 月 2 日)	11,217	0	△ 4.4	14,948	3.0	0.0	98.9	3,499

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
〔 <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> 〕
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,738円

期末：11,217円（分配金 0 円）

騰落率：△4.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の水に関連する事業を行う企業の株式に投資を行った結果、主に投資対象となる企業の株価が下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界水資源関連株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年10月 2 日	円 11,738	% —	14,507	% —	% 0.0	% 99.0
10月末	11,969	2.0	15,474	6.7	0.0	98.7
11月末	11,929	1.6	15,439	6.4	0.0	99.4
12月末	11,626	△ 1.0	16,088	10.9	0.0	99.1
2025年 1 月末	11,831	0.8	16,106	11.0	0.0	99.3
2 月末	11,292	△ 3.8	15,348	5.8	0.0	99.3
3 月末	11,292	△ 3.8	14,874	2.5	0.0	99.0
(期 末) 2025年 4 月 2 日	11,217	△ 4.4	14,948	3.0	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 10. 3 ~ 2025. 4. 2)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況はまちまちな動きとなりました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化を背景にリスク回避の動きが広がったことなどから、下落して始まりました。2024年11月には、米国大統領選挙でトランプ前大統領が勝利し、共和党が上下両院の過半数の議席を獲得したため、米国景気拡大への見方が広がったことなどから、12月初旬にかけて米国株式市況は上昇しました。その後は、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は下落しました。2025年1月には、ECB（欧州中央銀行）が利下げを実施したことが好感されたことや、CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回り米国長期金利が低下したことおよび良好な企業決算などが好感され、株価は反発しました。2月中旬以降は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が強まったことなどから下落に転じ、当作成期を通してみるとグローバル株式市況はまちまちな展開となりました。

■為替相場

主要投資対象通貨は対円で上昇（円安）しました。

米ドルは、当作成期首より、日本の衆議院議員選挙を経て日本の政治不透明感が強まったことに加え、日銀が政策金利を据え置いたことなどから、対円で上昇しました。2025年1月に日銀が利上げを実施し、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利を据え置いたことなどから対円で下落（円高）する場面もありましたが、当作成期を通しては対円で上昇しました。

ユーロは、当作成期首より、衆議院議員選挙を経て日本の政治不透明感が強まったことなどから対円で上昇して始まったものの、ユーロ圏の景気悪化懸念が高まったほか、ECB（欧州中央銀行）の追加利下げ観測が強まったことなどから下落しました。その後は、当作成期末にかけてドイツの長期金利が日本の長期金利より大きく上昇したことでユーロは対円で上昇し、当作成期を通しては対円で小幅な上昇となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「BNPパリバ・ファンズ アクア」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※BNPパリバ・ファンズ アクア：BNPパリバ・ファンズ アクア（UI15 JPY CAP クラス）

■BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは、3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行います。

当ファンドの運用にあたっては、引き続き3つのテーマのバランスを重視し、回復力のある事業特性を持ち、市場を上回る利益成長と強い価格決定力を有する優良企業に注目するとともに、水関連分野における成長機会を捉えることに注力する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 10. 3 ～ 2025. 4. 2）

■当ファンド

当ファンドは、「BNPパリバ・ファンズ アクア」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、「BNPパリバ・ファンズ アクア」を高位に組み入れました。

■BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは、3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

引き続き、3つの水資源関連テーマのバランス重視に努めました。一部のAI（人工知能）関連銘柄が選好される相場環境が続いたのち、ディープシーク・ショックや米国の関税政策への懸念の高まりなどを受けて投資家のリスク回避姿勢の強まりが見られた中で、安定したパフォーマンスを発揮できるようなポートフォリオの構築をめざしました。個別銘柄では、米国のインフラ政策により恩恵を受けることが期待された排水管メーカーのアドバンスト・ドレナージ・システムズ（米国）やインフラ関連製品を提供するコア&メイン（米国）を買い増す一方で、欧米長期金利高止まりシナリオが高まっていることから、水道会社のアメリカン・ウォーター・ワークス（米国）や環境サービス会社のヴェオリア・エンバイロメント（フランス）などを一部売却しました。新規組み入れ、または全売却した銘柄はありませんでした。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

当ファンドは、「E S Gファンド*」です。

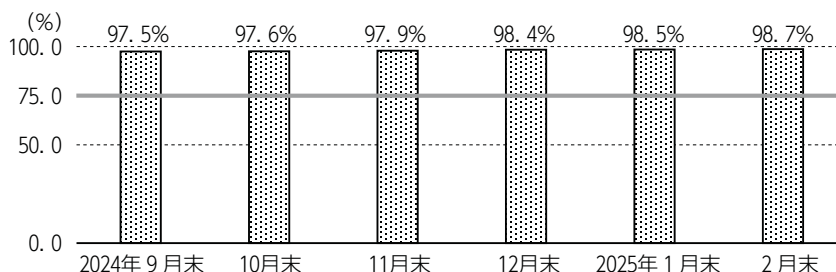
* E S Gファンドとは、E S Gを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

*当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○E S Gの観点により選定した銘柄への投資比率について

当ファンドが投資対象とする「B N Pパリバ・ファンズ アクア」では、水関連事業を行う企業の株式に、常に純資産総額の75%以上投資を行います。

◆「B N Pパリバ・ファンズ アクア」における、水関連事業を行う企業への投資割合の推移



(注) B N Pパリバ・アセットマネジメントが提供するデータ等をもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

※比率は「B N Pパリバ・ファンズ アクア」の純資産総額に対する比率です。

○組入ファンドの運用会社が同社のスチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要 (※)
議決権行使活動

- ・2023年、ファンド内で、合計735件の議決権行使を行いました。
内訳：賛成…92%、反対…6%、棄権…1%
- ・2023年、ファンド内で、58件の年次株主総会における投票を行いました。
内訳：すべての議案に賛成…66%、少なくとも一つの議案に反対または棄権…34%

エンゲージメント活動

- ・2023年、ファンド内で、合計22件の企業に対するエンゲージメント活動を行いました。
内訳：環境…36%、社会…30%、ガバナンス…34%

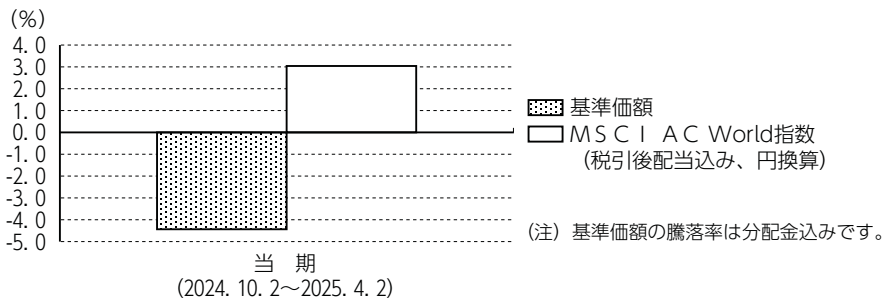
インパックス・アセットマネジメントの議決権行使方針およびエンゲージメント方針の詳細につきましては、同社のウェブサイトをご覧ください。

<https://impaxam.com/assets/pdfs/reports/stewardship-and-advocacy-report-us-2024.pdf>

(※) インパックス・アセットマネジメントの資料をもとに作成したものです。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（１万口当たり）

項 目	当期	
	2024年10月 3 日 ～2025年 4 月 2 日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,334

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「BNPパリバ・ファンズ アクア」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは、3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行います。

当ファンドの運用にあたっては引き続き、3つのテーマのバランスを重視し、回復力のある事業特性を持ち、市場を上回る利益成長と強い価格決定力を有する優良企業に注目するとともに、水関連分野における成長機会を捉えることに注力する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 10. 3～2025. 4. 2)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0.587%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,688円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	69	0.591	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

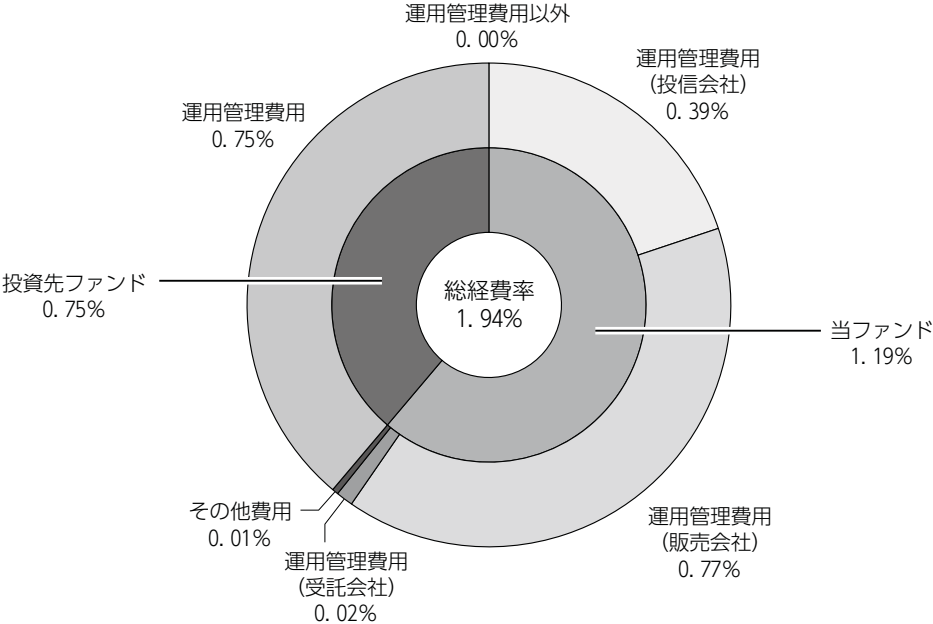
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.94%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注 1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
(注 4) 各比率は、年率換算した値です。
(注 5) ①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注 7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資証券

(2024年10月3日から2025年4月2日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	BNP PARIBAS FUNDS AQUA UI15 JPY CAP (ルクセンブルク)	—	—	56.537749	765,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資証券 (ルクセンブルク) BNP PARIBAS FUNDS AQUA UI15 JPY CAP	266.361161	3,462,695	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年4月2日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	3,462,695	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	60,519	1.7
投資信託財産総額	3,523,215	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年4月2日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,523,215,594円
コール・ローン等	60,519,500
投資証券（評価額）	3,462,695,093
ダイワ・マネー・マザー ファンド（評価額）	1,001
(B) 負債	23,633,212
未払解約金	112
未払信託報酬	23,468,699
その他未払費用	164,401
(C) 純資産総額（A－B）	3,499,582,382
元本	3,119,774,138
次期繰越損益金	379,808,244
(D) 受益権総口数	3,119,774,138口
1万口当り基準価額（C／D）	11,217円

* 期首における元本額は3,757,788,511円、当作成期間中における追加設定元本額は146,588,981円、同解約元本額は784,603,354円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,217円です。

■損益の状況

当期 自2024年10月 3 日 至2025年 4 月 2 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	105,988円
受取利息	105,988
(B) 有価証券売買損益	△ 139,648,050
売買益	14,269,276
売買損	△ 153,917,326
(C) 信託報酬等	△ 23,633,100
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 163,175,162
(E) 前期繰越損益金	285,330,450
(F) 追加信託差損益金	257,652,956
(配当等相当額)	(63,028,179)
(売買損益相当額)	(194,624,777)
(G) 合計 (D + E + F)	379,808,244
次期繰越損益金 (G)	379,808,244
追加信託差損益金	257,652,956
(配当等相当額)	(63,028,179)
(売買損益相当額)	(194,624,777)
分配準備積立金	321,733,732
繰越損益金	△ 199,578,444

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	94,477,794
(d) 分配準備積立金	321,733,732
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	416,211,526
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	416,211,526
(h) 受益権総口数	3,119,774,138口

《お知らせ》

■受付停止日の削減について

2024年12月27日付で、購入申込みおよび換金申込みの受付停止日を以下のとおり削減しました。(下線部を変更)

【変更前】

- イ. ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所またはルクセンブルクの銀行の休業日
- ロ. ルクセンブルクの銀行の休業日（土曜日および日曜日を除きます。）の前営業日
- ハ. 上記イ.、ロ. のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

【変更後】

- イ. ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所またはルクセンブルクの銀行の休業日
- ロ. ルクセンブルクの銀行の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前営業日
- ハ. 上記イ.、ロ. のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンド（世界水資源関連株式ファンド）はルクセンブルク籍の外国投資法人「BNPパリバ・ファンズ」が発行する「BNPパリバ・ファンズ アクア（UI15 JPY CAP クラス）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（ユーロ建て）

貸借対照表
2023年12月31日現在

資産	3,756,212,786
証券ポートフォリオ（簿価）	2,939,869,320
証券ポートフォリオによる評価損益	740,783,975
証券ポートフォリオ（時価）	3,680,653,295
銀行預金および定期預金	41,420,649
その他資産	34,138,842
負債	14,148,639
金融商品による純評価損益	1,633,858
その他負債	12,514,781
純資産	3,742,064,147

損益計算書および純資産変動計算書
2023年12月31日に終了した会計年度

投資および資産による純収益	61,718,568
運用会社報酬	46,810,748
受取銀行利息	22,243
その他費用	11,324,809
税金	1,766,982
取引費用	1,610,536
販売報酬	1,590,712
費用合計	63,126,030
投資による純損益	(1,407,462)
純実現損益：	
証券投資	182,355,803
金融商品	513,380
純実現損益	181,461,721
評価損益の変動の内訳：	
証券投資	387,656,505
金融商品	(1,862,037)
運用の結果による純資産の増減	567,256,189
純設定・解約	(266,549,645)
分配金支払	(7,108,969)
会計年度を通じた純資産の増減	293,597,575
会計年度期首純資産	3,448,466,572
会計年度期末純資産	3,742,064,147

(ユーロ建て)

証券ポートフォリオ

2023年12月31日時点

数 量	名 称	取引通貨	評価額	純資産に占める 割合(%)
公式の証券取引所に上場が認められた、または その他の規制市場で取引される譲渡可能証券			3,680,653,295	98.36
	株式		3,680,653,295	98.36
	米国		1,538,012,821	41.11
744,247	ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC	USD	94,754,807	2.53
775,523	AEC OM	USD	64,890,772	1.73
1,248,097	AMERICAN WATER WORKS CO INC	USD	149,129,881	3.99
625,648	CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	USD	29,377,958	0.79
125,057	CHEMED CORP	USD	66,199,322	1.77
158,463	CINTAS CORP	USD	86,452,099	2.31
433,052	ECOLAB INC	USD	77,758,443	2.08
514,020	FRANKLIN ELECTRIC CO INC	USD	44,973,551	1.20
587,417	IDEX CORP	USD	115,452,048	3.09
92,761	KLA TENCOR CORP	USD	48,813,624	1.30
1,589,735	MASCO CORP	USD	96,392,930	2.58
6,361,859	MUELLER WATER PRODUCTS INC - A	USD	82,931,942	2.22
460,307	SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	USD	67,713,654	1.81
1,627,072	SMITH (A. O.) CORP	USD	121,428,340	3.24
583,464	TRIMBLE INC	USD	28,099,656	0.75
240,299	VALMONT INDUSTRIES	USD	50,796,378	1.36
920,180	VERALTO CORP	USD	68,523,068	1.83
455,717	WATTS WATER TECHNOLOGIES - A	USD	85,949,468	2.30
828,963	XYLEM INC	USD	85,819,227	2.29
2,725,216	ZURN WATER SOLUTIONS CORP	USD	72,555,653	1.94
	英国		768,130,053	20.54
652,333	FERGUSON PLC	GBP	113,558,863	3.03
329,979	LINDE PLC	USD	122,686,530	3.28
6,540,824	PENNON GROUP PLC	GBP	56,724,127	1.52
1,722,842	PENTAIR PLC	USD	113,400,481	3.03
8,885,418	POLYPIPE GROUP PLC	GBP	41,374,025	1.11
4,482,971	SEVERN TRENT PLC	GBP	133,420,832	3.57
616,986	SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	GBP	74,795,891	2.00
9,174,168	UNITED UTILITIES GROUP PLC	GBP	112,169,304	3.00
	スイス		277,069,695	7.40
1,613,239	FISCHER (GEORG)-REG	CHF	106,022,268	2.83
147,104	GEBERIT AG - REG	CHF	85,284,561	2.28
291,318	SIKA AG - REG	CHF	85,762,866	2.29

数 量	名 称	取引通貨	評価額	純資産に占める 割合 (%)
5,741,814	フランス VEOLIA ENVIRONNEMENT	EUR	163,986,209 163,986,209	4.37 4.37
2,417,158	オランダ AALBERTS INDUSTRIES NV	EUR	160,135,311 94,897,623	4.28 2.54
1,335,743	ARCADIS NV	EUR	65,237,688	1.74
4,531,118	日本 KUBOTA CORP	JPY	148,197,713 61,824,514	3.96 1.65
1,055,200	KURITA WATER INDUSTRIES LTD	JPY	37,463,898	1.00
3,743,099	SEKISUI CHEMICAL CO LTD	JPY	48,909,301	1.31
2,768,770	スウェーデン ALFA LAVAL AB	SEK	100,329,829 100,329,829	2.68 2.68
278,982	ドイツ SARTORIUS AG - VORZUG	EUR	92,956,802 92,956,802	2.48 2.48
2,832,293	オーストリア WIENERBERGER AG	EUR	85,591,894 85,591,894	2.29 2.29
1,643,397	デンマーク NOVOZYMES A/S - B	DKK	81,811,059 81,811,059	2.19 2.19
4,993,836	ブラジル CIA SANEAMENTO BASIC O DE - ADR	USD	68,850,878 68,850,878	1.84 1.84
7,463,345	オーストラリア ALS LTD	AUD	59,238,702 59,238,702	1.58 1.58
778,497	カナダ STANTEC INC	CAD	56,856,042 56,856,042	1.52 1.52
2,725,954	フィンランド KEMIRA OYJ	EUR	45,768,768 45,768,768	1.22 1.22
837,878	韓国 COWAY CO LTD	KRW	33,717,519 33,717,519	0.90 0.90
証券ポートフォリオ合計			3,680,653,295	98.36

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（世界水資源関連株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年4月2日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年10月3日から2025年4月2日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1296国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972		
1277国庫短期証券 2025/3/31	10,796,144		
1286国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277		
1266国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年4月2日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（25,356,355千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2025年4月2日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 15,000,000	千円 14,988,995	% 58.1	% —	% —	% —	% 58.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年4月2日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券	1286国庫短期証券	% —	千円 3,500,000	千円 3,498,803	2025/05/12	
	1296国庫短期証券	% —	11,500,000	11,490,192	2025/06/30	
合 計	銘 柄 数 金 額	2銘柄	15,000,000	14,988,995		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

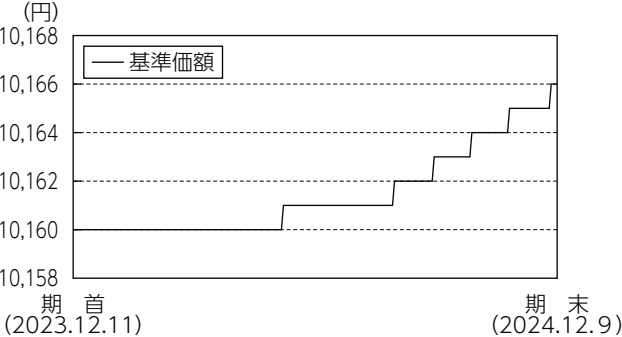
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	10,160	—	—
12月末	10,160	0.0	—
2024年1月末	10,160	0.0	—
2月末	10,160	0.0	—
3月末	10,160	0.0	54.3
4月末	10,160	0.0	61.4
5月末	10,161	0.0	61.1
6月末	10,161	0.0	53.7
7月末	10,161	0.0	53.8
8月末	10,162	0.0	54.0
9月末	10,163	0.0	56.8
10月末	10,164	0.0	52.1
11月末	10,165	0.0	59.1
(期末)2024年12月9日	10,166	0.1	59.0

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		34,898,602	(21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期				
買 付		売 付		
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	
	千円		千円	
1258国庫短期証券 2024/12/23	11,398,953			
1219国庫短期証券 2024/6/24	10,999,769			
1239国庫短期証券 2024/9/24	9,999,950			
1266国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末	
	額面金額	評 価 額	組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%
国債証券	13,900,000	13,899,790	59.0	59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期		末	
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円 11,400,000	千円 11,399,837	2024/12/23
	1266国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,953	2025/02/10
合計	銘柄数 金 額	2銘柄	13,900,000	13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 13,899,790	% 57.7
コール・ローン等、その他	10,201,274	42.3
投資信託財産総額	24,101,065	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	24,101,065,702円
コール・ローン等	10,201,274,983
公社債(評価額)	13,899,790,719
(B) 負債	539,914,600
未払解約金	539,914,600
(C) 純資産総額(A－B)	23,561,151,102
元本	23,177,163,591
次期繰越損益金	383,987,511
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C／D)	10,166円

* 期首における元本額は19,198,713,135円、当作成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 9,272,436,966円
 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド → AI新時代ー (為替ヘッジあり) 1,316円
 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド → AI新時代ー (為替ヘッジなし) 1,316円
 ダイワFEGグローバル・バリュース (為替ヘッジあり) 9,608円
 ダイワFEGグローバル・バリュース (為替ヘッジなし) 9,608円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 1,862円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 1,862円
 世界水資源関連株式ファンド 984円
 ダイワ／“R I C I” コモディティ・ファンド 2,074,249円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) 1,595円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型) 1,428円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型) 1,772円
 NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型) 1,270円
 世界セレクトティブ株式オープン 983円
 世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円
 iFreeETF NASDAQ100インバース 1,625,040,517円
 iFreeETF NASDAQ100レバレッジ 6,118,952,239円
 iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース 1,922,334,672円
 iFreeETF 米国10年国債先物インバース 748,591,588円
 D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ 3,487,675,074円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) → トリプル 1,851円
 リターンズー 日本円・コース (毎月分配型) 1,805円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) → トリプル 1,763円
 リターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型) 1,957円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) → トリプル 3,666円
 リターンズー ミドル・コース (毎月分配型) 1,773円
 ダイワFEGグローバル・バリュース株ファンド (ダイワSMA専用) 1,606円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 1,427円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 1,922円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 1,097円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,705円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 1,350円
 ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,777円
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) → トリプル 1,777円
 リターンズー 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。